

『新纂浄土宗大辞典』 修正一覽表

令和4年3月31日版

・『新纂浄土宗大辞典』本体に挟みこんでお使いください。  
・WEB版はすでに修正を行いました。

項目	頁・段	誤	正
けいじく【慶忌】	(378頁・2段)	翌年、後花園天皇に浄土門首座と認められて香衣被着を賜り、これが浄土宗における香衣勅許のはじまりとなる。	翌年、後花園天皇に浄土門首座と認められて香衣被着を賜った。
こうかいげ【広開偈】	(426頁・4段)	『観経疏』玄義分(聖典二・四／浄全二・一下)の一四行偈にある。	『観経疏』玄義分(聖典二・四／浄全二・一下)の十四行偈にある。
さいにん【西忍】	(518頁・3段)	一二〜三世紀頃、生没年不明。	西仁とも。一二〜三世紀頃、生没年不明。
じょうえ【定慧】	(721頁・4段)	永仁四年(一二九六)―応安三年(二三七〇)十一月二日。定恵とも書く。仏蓮社良誉。浄土宗五祖。	永仁四年(一二九六)―応安三年(二三七〇)十一月二日。定恵とも書く。仏蓮社良誉。浄土宗戒脈の五祖。
にしゆぎしん【二種疑心】	(1157頁4段)	一念も往生不足有るべからずと思うを乃至一念無有疑心と云う也」(浄全一〇・三六四)として、疑う心のない安心・起行を強調している。	一念も往生不足有るべからずと思うを乃至一念無有疑心と云う也」(浄全一〇・三九五上)として、疑う心のない安心・起行を強調している。
ぶつみょうえ【仏名会】	(1292頁2段)	是の人は現世安穩にして諸難を遠離し、及び諸罪を消滅し、未来に当に阿耨多羅三藐三菩提を得べし。	是の人は現世安穩にして諸難を遠離し、及び諸罪を消滅し、未来に当に阿耨多羅三藐三菩提を得べし。
まつむし・すずむし【松虫・鈴虫】	(1394頁1段)	『玉葉』には「小御所の女房」とあり、室町時代成立の『法然上人秘伝』や談義本『松虫鈴虫物語』に松虫・鈴虫の名がみられる。	『愚管抄』には「小御所の女房」とあり、室町時代成立の『法然上人秘伝』や談義本『松虫鈴虫物語』に松虫・鈴虫の名がみられる。
ろっぱらみつ【六波羅蜜】	(1552頁2段)	大乘菩薩における代表的な六つの実践徳目。	ろくはらみつとも。大乘菩薩における代表的な六つの実践徳目。
わぬきじゆず【輪貫数珠】	(1559頁4段)	後に鹿ヶ谷法然院の忍激が五四および二〇顆の数珠を考案した(『忍激和尚s行業記』浄全一八・二七上)。	後に鹿ヶ谷法然院の忍激が五四および二〇顆の数珠を考案した(『忍激和尚行業記』浄全一八・二七上)。
付録			
浄土宗総・大本山 歴代住持	(142頁)		
【光明寺歴代】			
97 念善諦善	98 吉水玄信(馨嚴)		
99 民誉良雄	100 吉水大智(規誉)		
101 善誉芳淳			
【光明寺歴代】			
97 樹下諦善(念誉)	98 吉水玄信(馨誉)		
99 吉水良祐(民誉)			
100 吉水大智(規誉)	101 武田芳淳(善誉)		